

Rotary



# 白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度国際ロータリーテーマ

2020～2021年度クラブ目標

## 『35年目の再構築 ロータリーの源流へ』

会長 吉野 敬之  
幹事 堀田 一彦



# 第1628回例会

令和2年7月2日 (12:30～13:30)

- ソング
- 国歌 (君が代) ●奉仕の理想
- スマイルBOX
- 吉野敬之会長 (昨日のゴルフのスコアは久しぶりの100でした。今年度のロータリー活動も百点満点となる様頑張りますので、皆様のご御協力の程宜敷くお願い致します。)
- 堀田一彦幹事 (1年間よろしく申し上げます。)
- 佐川京子会員 (吉野新会長、堀田新幹事の新たな船出おめでとうございます。一年間よろしくお願ひいたします。)
- 小林義勝会員 (吉野会長、堀田幹事の船出をお祝いします。1年間宜しくお願ひします。)
- 鈴木孝幸会員 (吉野会長、堀田幹事、コロナに負けず出航おめでとうございます。来年に向けて、しっかりと勉強させて頂きます。)
- 佐藤清作会員 (吉野会長、堀田幹事の新年度の出発をお祝いいたします。一年間よろしくお願ひいたします。)
- 須藤正樹会員 (吉野・堀田年度スタート。1年間よろしくお願ひします。)
- 高島裕会員 (吉野、堀田年度のスタート誠におめでとうございませう。おととい、結婚記念日のプレゼントが届きました。ありがとうございました。)
- 三瓶徹会員 (吉野会長、堀田幹事、一年間よろしくお願ひします。)
- 吉田充会員 (吉野会長、堀田幹事の新年度スタートをお祝い申し上げます。中日前会長、兼子前幹事一年間ご苦勞様でした。また、誕生日をありがとうございました。)
- 矢田部錦四郎会員 (吉野敬之会長、堀田一彦幹事、新年度のスタートをお祝申し上げます。一年間宜しくお願ひ致します。)
- 関谷亮一会員 (吉野新会長、堀田新幹事就任おめでとうございませう。一年間大変御世話様になります。)
- 宮本多可夫会員 (吉野・堀田年度の第1回例会おめでとうございませう。新しい船出を祝して。)
- 青木大会員 (吉野・堀田年度スタートおめでとうございませう。先週バーディー取ってないのにスマイルしたらバーディー取れたのでスマイルします。)
- 藤田和克会員 (誕生日のお祝いありがとうございます。)
- 永野文雄会員 (新年度、吉野会長・堀田幹事さんを中心に西クラブ全員、楽しくやりましょ。)
- 池田浩章会員 (吉野会長・堀田幹事、武漢ウイルス禍にまげず一年間がんばって下さい。)
- 山口治会員 (吉野・堀田丸の船出を祝します。雨に負けず、コロナにも負けずのりきって下さい。)
- 成井正之会員 (吉野会長、堀田幹事の門出を祝して、一年ご指導宜しくお願ひ致します。)
- 富永章会員 (吉野会長、堀田幹事1年間よろしくお願ひ致します。)
- 仁平喜代治会員 (吉野会長、堀田幹事年度の船出となり、おめでとうございませう。コロナウイルスに負けず1年間よろしくお願ひ申し上げます。)
- 齋藤孝弘会員 (とりあえずガンバッテ!!!)
- 居川孝男会員 (吉野会長、堀田幹事1年間よろしくお願ひします。)
- 安部和夫会員 (吉野・堀田年度スタートおめでとうございませう。色々大変でしょうが頑張ってください。)
- 中目公英会員 (吉野会長・堀田幹事さん、今年度の輝かしい出発をお祝い致します。)
- 渡部勝也会員 (今年度もよろしく。半期分です。)
- 鳴島三夫会員 (先週は職業奉仕のため欠席でした。中目バスト会長、兼子幹事、ご苦勞様でした。新吉野会長、堀田幹事、1年間よろしくお願ひいたします。)
- 石部辰雄会員 (吉野・堀田丸の船出を祝してスマイル致します。)
- 金田昇会員 (吉野・堀田丸の船出をお祝いします。)
- 櫻岡敏之会員 (吉野、堀田年度、素晴らしい一年になりますようにご祈念いたします。私もがんばります。)
- 藤田龍文会員 (吉野・堀田年度の御盛況を願ひます。35周年も頑張ります。)
- 前原俊治会員 (吉野、堀田年度の始まりですね。おめでとうございませう。一年間頑張ってください。)
- 運天直人会員 (本年度SAAを担当致します運天です。力不足ですが一年間よろしくお願ひ致します。吉野会長、堀田幹事年度が素晴らしいものになりますように。)
- 熊澤直紀会員 (吉野会長、堀田幹事の新たな船出をお祝い申し上げます。1年間よろしくお願ひします。)
- 村上堅二会員 (吉野会長、堀田幹事、1年間宜しくお願ひいたします。)
- 片倉義文会員 (吉野会長・堀田幹事さん、1年間宜しくお願ひ致します。)
- 阿部克弘会員 (吉野・堀田年度のスタートおめでとうございませう。今年度一年間宜しくお願ひ致します。誕生日のプレゼント有難うございました。)

### ▶第1628回例会出席状況 (R2年7月2日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	43名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	57名
Ⓒ ①の出席者数	32名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	13名
Ⓖ = Ⓒ + Ⓔ + Ⓕ (メイクアップ補填後の出席会員数)	45名
Ⓗ = Ⓓ - (Ⓑ - Ⓕ)	56
Ⓘ = Ⓖ / Ⓗ × 100 (例会出席率)	78.9%

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

## 本日のプログラム

### ■会長の時間

吉野敬之会長



皆さん、こんにちは。本日、新年度の第1回例会を無事に開催できることを大変嬉しく思っております。前年度の3月4月5月とあの状況を考えると、その当時果たして新年度になったら例会が開けるのかなというふうなことは非常に心配でございました。前年度、その難局を乗り越えた中目さん、兼子さん、前会長幹事お二人には非常に苦しい時期を乗り越えられたお二人の手腕というものに敬服するとともに、お二人にとっても感謝したいというふうに思っております。お二人には一年間大変お世話になったわけですが、今年度も是非お二人には力を貸していただかないと渡り切れない大きな波がきそうでございますので、今年度も是非よろしくお願いいたします。私が幹事をしていた時の会長が吉田会長でございまして、最初のこの会長挨拶の時には本当に地に足がついていないその状態を私は隣で見ていて非常に笑っていたわけですが、実際わたくしがここにお話をする立場になってみると、あの時のあえて充ちゃんと呼ばせていただきますが、充ちゃんの気持ちが良くわかります。例会開会前に充ちゃんがやたら私の所に来ましていろいろと話しかけてくれるんですね。まるで、親鳥が子鳥の巣立ちを一生懸命見守ろうとしているかの如くありがたいなと思えました。実は、やっぱり緊張するだろうなと思って今日会長の時間も原稿を家のほうで書いていたんですが、実はすっかりそれを家に忘れておりまして、今若干緊張の中でお話をさせていただいております。昨日、新型コロナウイルス感染者が緊急事態宣言後に134名という宣言解除後の最高数を記録したというような報道が出ておりました。本当に前期の事をお話するまでもなく、まだまだ状況は収まる気配を見せないというようなどころではございます。今年度は35周年という年にあたるので、いろいろな事業等が非常に通常の年よりも立て込んでくる年になるかとは思っています。それに対しまして、やはり新型コロナウイルス感染が拡大というふうになりますと、様々な予定が崩れてくることも想像できるわけですが、今年度の各委員長さんにはお話をさせていただいたんですが、中止というのはいつでもできるので是非中止を念頭にせず準備をそれぞれに進めていきたいと思っております。そういうことをお伝えしました。皆様方におかれましては是非仕事もロータリー活動ももちろんですが、準備を怠ることなくその時が来たらすぐに動きだせるように備えていただければというふうに思っております。さらに、今日の新聞に出てたんですが有効求人倍率が白河は1.2倍に下がったらしいです。去年の秋口、私共のお店のほうで常に人員を募集していたのですが、募集しても全然人が来なくて「まぎーる」とかに大体1回掲載料3万円位かかるんですが、3

万円位の掲載料払って応募ゼロという状況が3か月も4か月も続いていたのですが、それからみるとやはりこういったコロナの影響でやはり人手がどんどん余っているというふうな状況になっているんだなというふうに今日感じておりました。取り留めのない話をしているかもしれないので、残りは後程の新年度会長方針のほうでお話をさせていただきたいと思っております。一年間頑張りますので、是非皆様のご協力の程をよろしくお願いいたします。

### ■幹事報告

堀田一彦幹事



- 国際ロータリー第2530地区2019-20年度ガバナー芳賀裕：2019-20年度ロータリー活動終了にあたって(御礼)
- 2019-20年度ガバナーエレクト事務所：米山記念奨学委員会カウンセラー研修会開催のご案内

- 国際ロータリー第2530地区2019-20年度ガバナー事務所：クラブ会長への御礼、訃報のお知らせ
- 国際ロータリー第2530地区2019-20年度ガバナー事務所復興フォーラム実行委員長 大橋廣治：「2017-20年度復興支援活動の記録」の送付について(御礼)
- 白河市国際交流協会会長 内藤義久：令和2年度「白河市国際交流協会総会」の開催について(通知)

### ■委員会報告

#### ○親睦委員会

櫻岡敏之委員長

#### ・結婚記念日

上杉謙太郎会員

#### ・誕生日

遠藤敦会員、阿部克弘会員

吉田充会員、藤田和克会員



#### ○雑誌広報渉外委員会

村上堅二委員長



皆さん、こんにちは。本年度、雑誌広報渉外委員会委員長を務めさせていただきます村上と申します。よろしく申し上げます。1回目の「ロータリーの友」だったんですけども、実は到着したのが今朝だったもので、内容はまだ確認しておりません。ざっと見させてもらいましたので、皆さんもそんなに深く見ないでいただければと思います。まず最初に横組の7ペー

ジをご覧ください。今年度、ロータリーのR Iの会長でありますホルガー・クナーク様ですね。今回は会長のテーマとして「ロータリーは機会の扉を開く」というふうな形のテーマを一年間で組んでおります。こういった形で今コロナウィルスという形で、非常に世界が厳しい状態にありますということをこの中でやはりこのロータリーがどうやってそういった扉を開いていくのか。そういったことがこれから必要なのかなというところがあります。そして、ホルガー・クナークさんは非常に家庭的な方であることで、その説明が8ページにありますのでごゆっくりご覧いただければと思います。それから、横組みの22ページをご覧になっていただけますでしょうか。今年度、2530地区のガバナー石黒秀司様のご紹介が載っております。非常に若々しい、そしてきれいな奥様ですので、是非ご覧になっていただければなというふうに思っております。それから、横組みの48ページ、医療現場、医療従事者を守るという形で、いろいろなロータリーがやはり西も同じように医療機関のほうにいろんな提供をして従事者を守ろうという形の運動が起きております。是非、この辺もお読みください。それから、ちょっと今回変わった企画で横組みの57ページ、連載コミックという形でポール・ハリス氏のロータリーの生い立ちという形のコミック、アニメになっております。前半なので来月また後半が出るかと思うんですけども、こういった非常に苦しい中で育ったポール・ハリスがそういったいろんな方の助けを得て非常に崇高な理想を持たれてロータリーを作られたのかなということを実感させていただきました。是非、これも楽しみに読んでいただければと思います。それから、縦組みにうつります。縦組みの4ページ、「ジャパネットたかた」の高田明様の講話をいただいております。最初はカメラ店からいろんなことをやって今の状態まで持ってきて、今現状いろんな仕事をやってまして、多分サッカーチームのほうも持たれているかと思っております。そういった意味では、理想を「夢持ち続け、日々精進」というテーマになっておりますけども、今回のコロナのほうもそうですけども、こういった苦しい時に夢を見てきちんと日々精進することが必要なのかなというふうを感じる文章でありましたので、是非お読みいただければと思います。それから、縦組みのほうの16ページ、本宮ロータリーの高田様のほうから「友愛の広場」に投稿いただいております。「創立記念日にポール・ハリスの声を聴く」という形で、こういった形のものをロータリーのほうでもやってるということでした。非常に「ロータリーの友」は読みごたえがありますので、是非皆さんゆっくり読んでいただければと思います。ちょっと今月はザクっとしたお話で申し訳ないんですけども、来月はまたきちんとしたお話をしたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

## ■本日のプログラム

### 会長・幹事新年度方針

#### ○吉野敬之会長



それでは、年度初めの例会恒例で会長方針ということでございますので、会長方針のほうをお話をさせていただきたいと思います。先程、例会開会前に私の話は約15分程度しか用意してないというお話をしまして、何とか私の話がスタートするのを13時5分以降にしてほしいというお話をしてたんですが、予定よりもずいぶん早く始まっておりますので、もしかすると若干今日の例会は早めの終わることになるかもしれませんが、わたくしと堀田幹事と二人でお話をさせていただきたいと思います。西クラブは今年度35周年を迎える年となるわけで、わたくしを含めると35名の会長経験者がいらっしゃいます。現在も当クラブに在籍中の現役のパスト会長が17名ほどいらっしゃるわけですが、わたくしは多分歴代のパスト会長程ロータリーに対する見識や意欲など持たずにロータリー活動を始めてまいりましたし、それが当たり前のような形で活動しておりました。今年度の会長に押されましたのは今から2年程前になるわけですが、歴史があり60名弱というメンバーを抱えるこの西クラブの会長としての責任感というもの、その当時から徐々に少しづつではありますが芽生えてまいりましたが、まだまだわたくしのそういった見識意識というものは多分野球でいくと二軍レベル、うちのチームでいくと三瓶君レベルなのではないかなというふうに思っております。そんなわたくしではございますが、今年度新会長方針ということで皆さんにお話するのは大変僭越だとは存じますが、この35周年の年に選ばれましたのもきっと何かしら意味がある事なのではないかと思っております。今年度方針を皆様のほうにお話させていただきたいというふうに思います。大体会長の新年度方針は内容は面白い話ではないと思っておりますので、退屈なさる方もいらっしゃると思うんですが、約20分程お付き合いいただくことになるかと思うんですが、是非ロータリーの友情に免じて最後までお付き合いいただければと思います。何人かのパスト会長、先程お話しましたように会長方針は緊張するよというようなお話をよくお聞きいたしました。確かに先程もお話したように緊張いたします。皆さんがわたくしに対してどのようなイメージを持っているかちょっとわかりかねますが、よく話好きだね、よく喋るねというふうに飲み屋さんではよく言われます。くだらない話でしたらいつまでも続けておられます。中身の無い話は得意でございます。ただ、内容があり皆さんの身になるになるようなお話は意外と苦手でございます。安部先生がどのように夜の芸を身に付けて行ったかとか、居川先生がどのように国際奉仕に貢献されてるかとかです。その辺のアングラ情報は非常にお話は尽きないん

ですが、そういうわけでございますので、お話が皆さんに伝わるように精一杯お話をさせていただきますが、なにおん、わたくし市会議員に出るわけではございませんので、話はさほど上手ではございません。不慣れでございますが、一生懸命皆さんに伝わるようにお話をさせていただきますと思いますのでよろしくお願ひします。各クラブの運営方針目標設定ということは、R Iが昨年定めた4つの戦略的優先事項と14の目的が定められておまして、そこからそれを受けて地区で策定された8つの重点活動目標を自分のクラブに反映させて重点活動目標を定めるというのが一つの流れとなっております。その辺は昨年度の会長の中目さんから皆さんレクチャーを受けたのでご理解をいただいていると思いますが、R Iの4つの戦略的優先事項と14の目的に関しましては、5年に1回に代わるということで昨年改定がありましたので、今年度も同じ内容でございます。それを受けまして地区のほうで重点活動目標を設定し、さらにはそれを受けましてクラブわたくしのほうで今年度の活動目標というのを定めるという一つの流れとなっております。本来ですと皆様のほうに年次計画書が刷り上がってればお手元にお配りするところでございますが、まだ完成していませんので皆さんのお手元にそのR I会長の定めた戦略的優先事項。それと地区、今年のガバナーのほうで定めた重点活動目標などを掲載した資料のほうをお手元にお渡ししておりますので、そちらのほうを参考に内容のほうは後程それを一読していただければよいかというふうに思います。また、地区の重点活動目標に関しましては今年度9月24日にガバナー公式訪問が予定されております。その時にガバナー自身から熱い思いが皆さんのほうにお話されると思いますので、私からの説明のほうは特に詳しくいたしません、その中でも私を感じました要点だけをお伝えしますと、今年度R I会長はドイツのホルガー・クナーク氏で、今年度のテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」というふうに設定されました。これはロータリーに入会することによって、様々な経験をする機会を得ることができると。その機会を生かすことでより広い世界へ羽ばたくことができるというような意味であるとわたくしは勝手にではございますが、随分端折ってですが理解いたしました。実際にはもっといろいろな意味を含んでいらっしゃると思うのですが、それは資料にあるように詳しく書かれておりますので、皆さん方のほうで読み込んでいただければと思います。先程言いましたように、4つの戦略的優先事項と14の目的というのは昨年改定されましたので、それを引き継いで今年も継続するという状況です。そして、今年度2530地区ガバナーは郡山ロータリークラブの石黒秀司ガバナーでございます。石黒ガバナーは「サーヴィスと良きロータリーのために」そして「Participate and Enjoy ROTARY」という言葉を唱え今年度活動に邁進していきたいと仰って

おりました。この横文字の意味は、ロータリーに参加して楽しもうという意味らしいです。それを念頭に8つの地区活動目標を定めているわけですが、その中で特にONE ISSUEは、会員増強と会員基盤、クラブ基盤の向上を定めておられます。この言葉からわかるように、石黒ガバナーは会員増強を最重要の活動目標を定めていらっしゃいます。本来ですとこの時期にはガバナーとは何度かお会いする機会があるはずなんです、皆さんご存じのように各種会議等が中止になりまして、なかなかお会いする機会がございませんでした。先日のオンライン会議では一方的に石黒ガバナーの顔は見させていただいたんですけど、アイドルのオンラインコンサートみたいな感じでお話は全然していませんでした。それで先日、会員増強セミナーというものがございまして、その会員増強セミナーのほうに出席した際に一度やっご挨拶をする機会がございました。その時にお話をされていた内容もやはり会員増強のお話でございました。会員増強を活動の中心に据えましたが、このような環境で活動が制限され、ただでさえ難しい増強がさらに難易度が上がるように、地区の皆様には推し進めていただくことに対して非常に心苦しく思う部分もあります。ただ、決めた以上地区としてもしっかりサポートしていくので、各クラブの皆様にも是非しっかりと進めていっていただきたいというようなお話をされておりました。活動目標を定める時期というのがいつなかわたくしは存じませんが、多分新型コロナウイルスがこのような感染拡大する前だったのではないかというふうに推察しています。それでも、会員増強は長年に渡り会員数が減少傾向というふうな中でそれが続くR Iや地区にとっては共通の最重要課題なんだと思います。だからこそ、このような状況になっても強く推し進めていく覚悟なんだというふうにお言葉から私は感じ取りました。当クラブでも是非ガバナーの強い思いに応え、会員増強にはチャレンジをしていきたいというふうに思った次第でございます。我が西クラブは昨年度、中目パスト会長の時にR Iが定めるところの標準定款に準拠した定款策定と、それに準じる組織へと宮本委員長率いる中長期戦略策定委員会を中心としてメンバーの方々のご助力のもと改編されました。物事はよくパソコンのハードとソフトなんていうふうに例えられることが多いですが、ハードの部分はきっとR Iの揺るぎのない基本理念や目的などそういう絶対的なものとして存在してるものがハードなんだらうなと思っております。これはあまり変わりはないと思うんです。ソフト部分ですね。特にオペレーションシステム、OSを去年中目パスト会長がバージョンアップして新しいものにしてくれたのが今の状態かなというふうに私は感じております。そのうえで今年度は、バージョンアップされた新OSの上で新しいアプリケーションソフトとして、今年度の活動を構築して展開していくといったイメージで考え

ております。35年という節目の年ということもありまして、当クラブの今後のロータリー活動の指針を生み出せるような将来に渡ってこんな方向で、直近ですかね5年以内の目標を定めていけるような指針を示せるようなそんな年度にしたいなという思いがまずございます。そんな思いもありまして今年度スローガンを「35年目の再構築、ロータリーの源流へ」と定めさせていただきました。そしてこのスローガンのもと、5つの重点活動目標を定めさせていただきました。まず初めにクラブの存在意義を再構築しようですが、存在意義というのは組織の根幹をなすものですが、これは時代と共に変化していくことも必要だと私は考えております。ロータリーの基本理念や目的は明確に表示されておりますが、それをベースとしての存在意義はその地域で必要とされている存在であるかどうかということが一番大事なのかなと思っております。その地域で必要とされる存在であるためには、やはり変化を恐れてはいけないと思っています。だからといって、現在クラブに存在意義がないとか、現在のクラブが認識されているような存在意義が間違っているとかがいうふうに否定しているつもりは全くございません。根本にある思いとしましては、現状の是非を問うということではなくて、今後の進化を目指す作業を通してさらに強固な集団となり、40周年、50周年と強い歩みを歩みだしていく第一歩としてみんなと一緒にその部分を一度しっかりこの節目に考えていけたらなというふうに思っております。存在意義というのは、言い換えればわたくしはセールスポイントだと思っております。そのセールスポイントがお客様に受け入れられるかどうか、今以上に受け入れられるにはどう変化すればよいのかということをもメンバー同士で話し合い答えを導き出して意思統一を図りたいという思いです。再構築という表現を使っていますが、これは変化を意味するというふうに固定したわけではなくて、メンバー同士が今検討することが再であり構築だという意味です。外人みたいな喋り方でした。これの最大の目標は、このクラブのセールスポイントが明確になり、メンバー間の共通認識を作り上げることによりまして、外部に対する発信というものがより強いしっかりしたものになるであろうという思いを持っております。つまり、イノベーションではなくてエボリューションというふうに考えているというふうにご理解いただければと思います。次に、例会最重点主義で会員資質を高めようというふうに掲げさせていただきました。各種会議の席上や中止になった会議の資料等で必ず言われることの一つに、ロータリーの基本は例会であるというふうな言葉がございます。私もこれは本当に真理だなというふうに思っております。ロータリーは週に1回の例会がありますので、言い換えれば週に一度メンバー同士が顔を合わせる貴重な機会があるわけで、これは通常の他の団体に比べまして非常に高い頻度で皆さんがお会いする機会

があるというふうにいえると思います。私も出席率がこういう立場になるまで決して高いわけではなかったのですが、大きなことは言えないんですが、出席率がやはり高ければ絆が生まれやすいし、強くなりやすいだろうなど。そうすることによってより強固な団体として成長していくのではないかと思います。そのためにも例会のプログラムというものが大事なポイントになると思います。私が考える出席率を高める例会とは、皆さんにとって参加される方にとって新たな発見があるプログラム。有益な情報が得られるプログラム。そして、聴講型ではなくて自らが参加する体験型プログラムだと考えております。そういった考えをベースに今年度のプログラムを構築してほしいとプログラム委員長の齋藤さんにはお願いしております。齋藤委員長の広い見識、人脈にわたくしは全幅の信頼をおいて委員長をお願いしておりますので、もし万が一内容に不備がございましたら、それはきっと委員長の責任だと思っておりますので、その時には遠慮なくわたくしでなく委員長の齋藤さんまで厳しくクレームを伝えていただければというふうに思います。是非、プログラムを充実したものとして皆さんと一年間楽しいプログラム例会活動をしていければと思っております。3番目に、会員増強目標を達成しようというふうに掲げさせていただきました。人の気持ちは若干変わるもので、実は当初この目標を掲げたのですが、さほど強い思いは正直ありませんでした。ただ、地区の重点目標になってるし、これはきちんと入れとかなないとまずいのかというものが正直な気持ちでした。ただ、徐々に変わってまいりまして大した会議はまだ開かれてないですが、先程言いました石黒地区ガバナーとお話をした際に、やっぱりガバナーの熱意というものが伝わりましたし、私もどうせだったらしっかりこれに取り組んでみるのは私にとっても皆さんにとってもきっと有益なんじゃないかなというふうに思ひまして、地区のほうでは一年間で253名の増員を目標として掲げております。それを各クラブの規模に応じて割り振っていくと当クラブは8名の増強を一応目標として定められているらしいです。さすがに8名はちょっと難しいんじゃないかなというふうに思ひまして、山田委員長とお話をしまして4名くらいなら何とかなんと小聲で話したところ、山田委員長は隣で運転をしながらよく何を聞かれたのかもわからず「はい」と返事をしてしまったので、じゃあ4名でいこうというようなお話になりました。当クラブの特徴としましては、会員数に意外と乱高下が少ないというのが特徴かなと。そして、入会退会の会員のどちらもそういうことで少ないというような特徴があるのかなと思っています。意外と他のクラブで聞くと、一年間で8名伸ばしました、けど一年間で8名辞めちゃったのでプラマイゼロでしたなんていう話が私は冗談なのかなと思ったんですけど本当にあるらしいです。それから比べると、うちは非常に乱高下が少ない。言い換える

と非常に居心地の良いクラブなんじゃないかなというふうに感じましたし考えました。なので、純増4名というのは本当にもしかすると4名さえ入会していただければそのまま4名が残る目標ですし、もし5名増員ができれば間違いなく目標は達成できるんだろうなというふうに思っておりますので、皆様の頭の中にもこの5という数字をちょっと入れていただければというふうに思っております。これも皆さん仰ることですが、会員増強は委員長一人もしくは委員会メンバーだけが担うものではなくて、クラブ全員メンバー全員が委員長の指示のもとと言いますか、委員長が旗頭となって全員で取り組むべく問題だというふうに思っております。私も20周年の時に入会をしましたが、やはり周年事業とかいう年は人を勧誘するのに大義名分があるいい機会だなと思っております。是非、山田委員長のもと皆で協力して、なんとかこの会員増強目標というものも達成したいなと思っておりますので、ご協力の程をよろしくお願いたします。4番目に掲げさせていただいたのが、創立35周年を通してメンバーの結束を強めようです。先程もお話しましたようにやはり今年は35周年、皆さんの先輩方が紡いできたその年月が35年間というふうに結実する年でございます。やはり、さっきも言いましたようにいろいろなことが節目となり大義名分となり、皆さんが協力してやっていくには非常にいい年だと思いますし、またその35周年というキーワードの中いろいろな事業展開されるので、繰り返しになりますが皆様と一緒に行動する顔を合わせる時間が非常に多くなると思います。そうすると、やはり絆は強くなりますし、その絆が強くなればなるほどこのクラブの強さというものが更に強くなり、そういう強さというものが外部に発信した時に魅力あるクラブというふうに映るのではないかなと思っております。5番目としましては、ロータリー賞へ挑戦しようでございます。昨年の中目会長のもと、見事ロータリー賞のプラチナ賞というものを受賞することができました。この表彰は地区大会でされるそうなので、これは中目パスト会長からの今年度の会に対するプレゼントかなと思っております。せっかくそういう成果を出したので、できれば継続してしていきたいなと。できることなら来年の鈴木エレクトにもプレゼントを贈ればいいなというふうに思っております。なので、皆さんからご協力をこれもお願いをしまして何とか鈴木エレクトのほうにまたロータリー賞の表彰の機会を与えていただけたらなというふうに、私は鈴木エレクトのことをとても好意を持ってとらえておりますので一生懸命頑張ります。多分、皆さんも好意を持っていただけると思うので、一生懸命頑張っていたいただけると思います。以上が、私の定めた5つの活動重点目標です。やっぱり僕はお喋りでした。22分になってしまいました。最後になります。根本にあるのは、やっぱり皆さんと一緒に楽しいクラブ活動をしたい。そのためには私が楽しまなければ皆も楽しくないだろうという思いのもと、楽しんで一年間皆さんと一緒に過ごして

いきたいと思えます。是非、皆さんのご協力のもと楽しい一年、力強い一年を過ごしていきたいと思えますので、ご協力の程を切にお願いを申し上げまして、会長の新年度方針とさせていただきます。ありがとうございました。

#### ○堀田一彦幹事



幹事の堀田です。よろしくお願いたします。会長のお喋りのおかげで約2分くらいですかね、幹事方針のほうを発表させていただきたいと思えます。私は入会して今年で5年目というところで、ある程度ロータリーの一年間の流れというものもわかってきたんですが、まだまだわからないことが多いと思えますので、その辺は頑張っていきたいと思えます。また、先日米沢中央ロータリーさんとの交流について打ち合わせということで、米沢のほうにお邪魔しましてランチを一緒に食べてきました。その中で、表敬訪問の日程を決めましょうということだったんですが、コロナの影響もありますのでそこは状況を見ながら今後決めていきたいと思います。ただ、西クラブと中央ロータリーとの交流事業の日程は決めてまいりました。今年の9月18日金曜日に、米沢中央さん主催でまずゴルフコンペを行うと。その後、ゴルフをなさらない方も含めた交流会を米沢のほうで行いましょうと、一応そのような流れになっております。また、今年度は米沢さんの齋藤栄助さんが2800地区のガバナーということで、来年6月に行われる2800地区の地区大会のほうにも呼ばれをしておりますので、なかなかこのような状況ですので皆で行こうというわけにはいきませんが、我がクラブも35周年控えておりますので、なるべく多くの皆様で参加できたらなと思えます。その中で、今年度の交流委員長の赤間さんのほうからこんなお話がありました。白河西クラブさんは交流事業を行うといつも何かやらしてくれと。そのおかげで親密な関係になっているんですよ。なので、今回は堀田さん何か伝説になるような事件起こしてくださいと頼まれたんですが、さすがに会長幹事コンビはなかなか今年度大事件を起こすわけにはいきませんので、その辺は若手の皆様に特に鶴丸さんをお願いして米沢中央さんも若手がかなり入会されたということなので、今後は若手同士の交流もできればいいのかなと思えます。また、米沢中央さんだけではなく深谷ノースさんだったり、沖縄のコザロータリーさん、それから35周年では様々なロータリークラブの皆様と交流をさせていただきますので、その辺はシスター委員会ですとか親睦委員会などと密に連携を図ってスムーズな設営、運営をしていきたいというふうに思えます。最後になりますが、幹事の役割で一番大切なのは私の中では会長の隣にいつもいることだと思っておりますので、今年は優先順位を一番上にロータリーの幹事をあげまして、常に吉野さんの隣にいたいというふうに思えます。吉野会長も含めて一年間よろしくお願いたします。